No. 145　43.11.15

市報 とおかまち

（昭和32年6月5日第3種郵便物認可）　定価一部 5円　発行　毎月 15日　発行所　十日町市役所

今月の納税

固定資産税（第4期）

市のようす

面積	211.44km²
男	23,963
女	26,229
計	50,192
世帯数	10,428

（住民基本台帳人口）

豪雪対策を推進

雪害調査や積雪の観測

高山・四日町で消雪パイプを設置

降雪期を前に、いま市内で雪害対策施設の流雪溝や消雪パイプの設置工事が進められていますが、一方豪雪と積極的に取り組むため、ことしは県企画部兼雪地域振興課と合同で雪害調査を実施するほか積雪観測も行なうことになりました。

「雪害対策施設」

●流雪溝工事

昨年度本町通り、高田町、駅通りに延長二千五百㍍を実施しましたが、引続き本年は国道一一七号線川治、山本地区に延長千六百三十㍍を実施中です。工費千四百万円。

●消雪パイプ

道路の中央に埋めたパイプから井戸水を流して雪を消そうとするもので長岡市で実施していますが、こんど十日町市にはじめて試験的に実施するもので本年は国道一一七号線四日町地区千二百㍍、国道二五三号線高山地区千二百㍍を五千百万円で工事中です。

●圧雪用雪上車

幹線の無雪化とともに山間部落の冬期間の道路確保ということで市では圧雪用雪上車（キャタピラ付耕うん機）の購入あっせんをして補助金を交付しようというもので本年は下条地区二台、中条地区一台、水沢地区二台、吉田地区一台、計七台の購入を計画していますが一台の価格は三十一万四千円で十五万円の補助がでます。

「雪害調査」

市商工課、市長室、県企画部との合同企画で行なわれるもので市内全域から五十三世帯を抽出し、その該当世帯が自から調査員となって自分の家の雪害費用などについて十一月の雪囲いから四月の消雪まで大体つぎの内容について調査します。

（内容）

一、建築関係　除雪費、雪囲費

二、交通関係　雪道ふみ、雪道

三、生計費

除雪費　薪炭費　照明費

越冬用貯蔵野菜

越冬用器具代、診療費

「積雪観測」

市内小中学校のうちから十カ校を選び、その学校から該当地域の観測地点を定めて、積雪量気温　天気などを記録してもらうものでつぎの学校が委託を予定されています。カッコ内は標高。（米）

下条中（一〇三）、東下組小（二〇五）中条中（一三〇）、飛渡第一小（三〇〇）、大池小（五〇〇）、水沢中（一八〇）、野中小（五〇〇）、六箇小（四五〇）、樺沢小（二七五）、真田（三五〇）

「融雪実験」

東北電力がことし試験的に実施するもので県下で高田、長岡十日町の三カ所ですが、遠赤外線ヒーターによる融雪実験です。実験用ヒーターの取付場所は本町通りです。

（写真は簡易雪上車）

十二月二日までに提出を

選挙人名簿登録申出書

十二月一日現在で選挙人名簿の登録を行ないますので、次のかたは登録申出書を市選挙管理委員会に提出してください。

なお、選挙人名簿に登録されないと選挙の投票をすることができませんのでご注意下さい。

一、十二月一日で満二十歳になる者（昭和二十三年十二月二日以前に生れた人）住民登録により、該当者に往復ハガキを発送しましたが該当者でハガキの届かない方も登録申出をしてください。

2、他の市町村の選挙人名簿に登録されて選挙権がある者で他市町村から転入し、引き続き三カ月以上十日町市の区域内に住所を有する者。

3、いままでの名簿に漏れた人。

優秀賞に上村さん

四十三年度米多収穫共進会

昭和四十三年度十日町米多収穫共進会表彰式は、去る五日市農協で行なわれ、優秀賞に上村藤吉さん（南鐙坂）をはじめつぎの十二名が表彰されました

▽優秀賞＝上村藤吉（南鐙坂）

「秋晴れ」七百三十七・七㌔▽優秀賞＝浦井平五郎（高島）「フジミノリ」七百二十七・二㌔、柳誉（高島）「でわみのり」七百十六・九㌔▽佳良賞＝高橋国臣（城之古）「ミョシ」七百十一・八㌔、浜井薇（高島）「フジミノリ」七百八・一㌔、島田利久（北鐙坂）「金南風」七百四・八㌔▽努力賞＝高橋福美（伊達）「新木三芳」六百九十六・三㌔、宮沢昭平（伊達）「日本海」六百九十四・六㌔、野上和男（高島）「秋晴れ」六百七十一・六㌔、遠田国夫（川治上町）「のりくら」六百五十六・三㌔、金沢辰雄（太田島）「フジミノリ」六百五十三・五㌔、小林利治（城之古）「日本海」六百五十一・三㌔。

来年一月から五十円引上げ

国民年金保険料

来年一月から国民年金保険料が五十円あがります。現在二百円の人（二十才～三十四才）が二百五十円。二百五十円の人（三十五才以上）は三百円になります。もちろん保険料の引き上げをすれば、国が負担する額を増額するのは当然で保険料が二百五十円の人には百二十五円三百円の人には百五十円を国がたしまえすることになります。

雪まつりは二月八、九日

二十回記念で写真集も

雪まつり推進協議会は、去月二十六日商工福祉会館で開かれ来年の雪まつりについて協議しました。

まず雪まつり期日は、二月八日（土）、九日（日）の二日間と決まり、行事は例年のとおり雪上きものショーを中心として計画されますが、こんどの雪まつりは二十回目にあたるため、盛大に行なわれるものと予想されています。

なお、二十回を記念する雪まつり写真集もつくられることになり、現在関係者の手で編集が進められていますが、雪の芸術を中心とした従来の写真集と異なり、このほかに雪国の生活を多面的に紹介する内容も含んだ趣きのあるものです。

市会議員 村山正明氏

市内伊達、市会議員村山正明氏は去る十三日、市議会建設委員会に出席中、脳溢血でたおれ同日十日町病院で死去されました。

村山氏は旧水沢村村議二期つとめ、十日町市との合併に功労がありました。合併後は、市議として総務財政委員長、二期目の現在は建設副委員長をつとめ特に雪害対策特別委員長として市政に尽力されました。

市役所職員（栄養士）募集

(1)栄養士の資格のある者で三十才以下　一名

給与は一般職の初任給基準による。

採用予定期日　昭和四十四年一月

(2)受験申込　自昭和四十三年十一月十五日　至昭和四十三年十一月三十日

(3)採用試験　昭和四十三年十二月中旬

(4)試験方法　口述試験

(5)申込方法　履歴書（本人の写真貼付）　受験申込書　資格を証する書類

(6)不明の点は教育委員会又は市役所市長室にお問い合せください。

市議会だより

第四回臨時市議会

十一月四日開会（一日）

議案処理結果

▽十日町市消防団員任免給与服務等に関する条例の一部を改正する条例制定

▽町及び字の区域並びに名称の変更

▽字の区域の廃止（以上総務財政委員長報告）

▽十日町市清掃条例の一部を改正する条例制定

▽十日町市葬火場条例の一部を改正する条例制定

▽昭和四十三年度十日町市一般会計補正予算（第七号）

▽昭和四十三年度十日町市簡易水道特別会計補正予算（第三号）

▽昭和四十三年度十日町市水道事業会計補正予算（第二号）

▽十日町市議会会議規則の全部改正について

▽十日町市議会常任委員会及び特別委員会条例の全部改正について

▽十日町市議会傍聴人取締規則の全部改正について

（以上原案可決）

▽二俣口冬季分校々舎改築に関する請願

▽四日町市営住宅集会場設置に関する請願（以上文教厚生委員長報告）　（以上採択）

▽昭和四十三年度十日町市水道事業決算書及び剰余金処分計算書（水道事業会計決算審査特別委員長報告）（以上認定）

▽専決処分承認（総合整備計画変）　（以上承認）

▽十日町市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

▽十日町市特別職の職員で、非常勤のものの報酬及び費用弁償並びに地方自治法第二〇七条による実費弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

▽十日町市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定

（以上総財付託）

▽本町下水路支線二号改修に関する請願

▽昭和町四丁目本通り消雪施設に関する陳情

▽昭和町四丁目本通り冬季中間除雪に関する陳情

（以上建設委員会付託）

行事

●市民排球大会

とき　十一月二十四日(日)

ところ　市民体育館

●合唱教室

とき　十一月二十八日(木)

夜七時から

ところ　中央公民館

●二市三郡羽球大会

とき　十二月八日（日）

ところ　市民体育館

ゆうあい号（献血車）の日程

日時　十一月十九日（午前十時～十一時三十分、午後一時～三時）

場所　本町六丁目一　綾織物株式会社十日町工場

新座第四、綾織物株式会社女子寮

十一月二十二日（午前十時～十二時、午後一時～三時）

場所　山本町五丁目関芳織物株式会社女子寮

●一日社会保険相談所

とき　十一月二十日(水)午前十時～午後三時

ところ　十日町商工会議所前

相談内容　健康保険、厚生年金保険、日雇労働者健康保険、国民健康保険、国民年金等について相談、苦情。

吉田 山谷地区農業構造改善事業

三ヵ年計画で今年度から着手

総事業費 約一億五千万円

昨年度事業を完了した吉田小泉地区の農業構造改善に引き続き四十三年度から山谷地区も、四十五年度までの三ヵ年継続で小泉地区と同様、米を基幹作目としたほ場整備事業近代化施設事業が実施されますが、実施計画の概要はつぎのとおりです。

(1)ほ場整備事業

水田一枚の大きさを二十アール（二反歩）十アール、七・五アール区画とするものです。総事業費は約一億二千万円でこのうち国が五割、県が二割の補助をします。

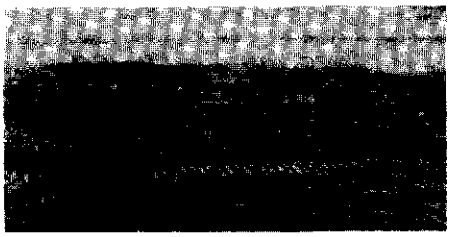
第一年度の四十三年度は、四百万円の事業が行なわれます。

(2)経営近代化施設事業

トラクターを中心とした動力刈取機、動力脱穀機、籾乾燥調整施設などの近代施設を導入するもので、約二千五百万円の事業で、国から五割補助があり、四十四年、四十五年度に整備されます。

なお事業主体が、ほ場整備事業は山谷土地改良区、経営近代化施設事業は、山谷集団栽培組合で受益戸数は、百二十九戸です。この事業の完了により樽沢、小泉、山谷、稲葉の百六十ヘクタールの市の水稲機械化経営モデル団地が完成します。

（写真は整備される山谷地区）



金賞は高橋君ら六人

火の用心ポスター入賞者決まる

市消防後援会では、防火思想を高めるため、市内小学校児童による火の用心ポスターを募集しましたが、二百七十二点が集まり、審査の結果つぎのとおり入賞者を決めました。

一年生▽金賞＝太田冬二（鎧島）▽銀賞＝高橋由紀子（川治）かみむらせいこ（馬場）▽銅賞＝樋口昭夫（水沢）もはらりようこ（十日町）はしのゆうじ（下条）

二年生▽金賞＝村山剛（馬場）▽銀賞＝小宮山幾男（大井田）阿部信一（川治）▽銅賞＝くぼ田よう一（飛一）池田靖子（飛一）根津朝子（十日町）

三年生▽金賞＝保坂保（十日町）▽銀賞＝水落輝昭（鎧島）岩田晃（中条）銅賞＝水落留美子（東下組）藤ノ木志津子（中条）池田敬（十日町）

四年生▽金賞＝田口芳広（十日町）▽銀賞＝藤木秀人（川治）▽銅賞＝鹿野かつら（十日町）阿部勇次（十日町）高橋卓美（十日町）

五年生▽金賞＝鹿野百合子（赤倉）▽銀賞＝鹿野敏明（赤倉）幸田典也（川治）▽銅賞＝小形典子（下条）登坂良雄（十日町）上村勇（十日町）

六年生▽金賞＝高橋準市（川治）▽銀賞＝上村万代子（水沢）菅村紀子（十日町）▽銅賞＝金井秀樹（馬場）小林茂（十日町）酒井誠（十日町）。

年金の二重払いにご注意

出稼者の皆さんへ

十一月から来春まで出稼ぎをされる皆さんで、各事業所の厚生年金、健康保険に加入される方も多いかと思いますので、つぎのことにご注意ください。

① 事業所の健康保険に加入した方は、出稼ぎするさいに国民健康保険証をと二重になり、保険料も二重に払うことになります。

② 事業所の厚生年金に加入した方は、国民年金と二重に保険料を払うことになりますが、将来老令年金をもらうさいは、二重に払った分だけよけいに老令年金をもらうことは出来ません。

このような場合は、すぐ市役所市民課または各出張所に届出をしてください。

昭和四十二年度共同募金実績

共同募金総額百八十七万七千円黒共同募金配分額百七十三万五千円。

寄附

市内瘦町西織物業菅村純一さんは、父の死亡による香典返しとして五万円也を社会福祉事業にと寄附されました。

二十五日までに手続き

職業訓練生募集

職業訓練所では、昭和四十四年四月入所の訓練生をつぎのとおり募集しています。

入所希望者は、十一月二十五日までに最寄りの公共職業安定所または職業訓練所へ問い合わせのうえ、手続きをおとりください。

◎入所資格

年令に制限なく、義務教育を修了した人（三月に中学校、高等学校卒業見込みの人を含む）

◎訓練期間

一ヵ年

◎特典

(1)授業料は無料です。

(2)国鉄、私鉄の学生定期券及び学割引が適用されます。

(3)就職率は百パーセントです。

(4)職種により、電気工事士、ガス溶接士などの必要な免許が得られます。

▽新潟（新潟市）＝機械科四〇仕上げ科三〇、板金科二〇、溶接科一〇、配管科塗一〇、製材機械科二〇、電工科四〇、自動車整備科四〇、ブロック建築科五五〇ヶ上越（高田市）＝機械科四〇、仕上げ科三〇、溶接科二〇、電工科二〇、自動車整備科三〇、建築大工科二〇、木工科二〇ヶ柏崎（柏崎市）＝機械科五〇、仕上げ科二〇、建築大工科二〇ヶ三条（三条市）＝鍛造科四〇ヶ三条＝鍛造科四〇ヶ仕上げ科三〇、溶接科三〇ヶ十日町（十日町市）織機調整科三〇、染色科三〇ヶ魚沼（北魚沼郡堀之内町）電工科二〇、左官科二〇、建築大工科三〇、大工科二〇。〈訓練所名、募集職種、募集人員の順〉

【注】①塗印の訓練期間は、六ヵ月です。

②測量料は、は高校卒業者（見込みの人を含む）に限ります。

「日本画」

市長賞「冬」　東条　麗子（澤　南）

奨励賞　山田　賢三（山　本）

田村　順一（上新田）

「洋画」

市長賞「教会のある町」　阿部　正明（北新田）

奨励賞　野崎　孝栄（稲荷町）

山田　善彦（昭和町）

平原義二郎（中　里）

二瓶　哲夫（昭和町）

第一回市展入賞者

奨励賞　西川　勝雄（四日町）

「書道」

市長賞　岩田　武（八幡田）

奨励賞　小宮山三次　滝沢　正晴（本町六）

玉村　三郎（川　治）

佳作賞　水品　文夫（川西町）

柳沢　正子（昭和町）

「版画」

佳作賞　竹内　英一（太田島）

横尾　正義（川原町）

田村　六助（新　座）

越村シズ子（西　浦）

（四日町新田）

「写真」

市長賞「雪んこ」　大久保恵子（下　町）

池田　京子（猿　倉）

奨励賞　庭野　良平（本町七）

庭野　淳一（学校町）

岩田　正幸（新　座）

前田　青久（本　町）

佐藤　市郎（稲荷町）

「新しい美術」

市長賞　村山　正彦（本町七）

奨励賞　坂東健次郎（高田町）

小宮山幸男（田川町）

細川　紀夫（旭　町）

関　常美（稲荷町）

中条中生徒六人（団体）

水道事業のお知らせ

わたくしたちの市の水道事業がどのようになっているか今回は昭和四十二年度決算を中心としてあわせて昭和四十三年度の上半期の業務状況をお知らせします。

市勢の急速な発展に伴い水道の需要も増加し給水戸数四百十一戸の増、有収水量では二十二万三千立方㍍の増と伸びました。

建設改良面ではだいま第二期拡張事業の二年目にあたり損益計算において約千七百万円の純利益をあげることができました。

四十三年度の上半期業務状況につきましては前年度に引続き健全経営に努めています。七月には第二配水池（容量三千二百八十立方㍍）の完工、配水管、布設工事及び電気設備などの工事を進めたほか、水源、配水池の新設拡充に伴いその施設の稼動並びに計測を集中管理する計装設備について遠隔操作方式の実現へ努め管理棟の築造に着手しました。

① 昭和42年度決算状況

昭和42年度水道事業損益計算書

（昭和42年4月1日より昭和43年3月31日まで）

費用 科目	金額	収益 科目	金額
1．営業費用	25,787,283円	1．営業収益	49,993,632円
(1)原水及浄水費	9,226,326円	(1)給水収益	48,642,189円
(2)配水及給水費	4,401,729円	(2)その他の営業収益	351,443円
(3)総係費	7,220,696円	2．営業外収益	1,694,593円
(4)減価償却費	5,049,330円	(1)受取利息及配当金	268,411円
(5)資産減耗費	54,382円	(2)他会計補助金	510,000円
(6)その他営業費用	34,830円	(3)雑収益	916,182円
2．営業外費用	1,939,131円		
(1)支利息	7,507,034円		
(2)雑支出	32,103円		
3．当年度純利益	17,361,795円		
計	50,888,229円	計	50,888,225円

昭和42年度水道事業貸借対照表

（昭和43年3月31日現在）

資産 科目	金額	負債及資本 科目	金額
1．固定資産	233,266,522円	1．固定負債	1,029,651円
2．流動資産	22,824,722円	2．流動負債	212,250円
3．繰延勘定	468,000円	3．資本金	237,955,648円
		4．当年度純利益	17,361,795円
計	256,559,244円	計	256,559,344円

昭和42年度水道事業剰余金処分計算書

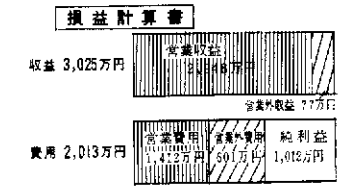
（昭和43年11月4日議決）

1．当年度未処分利益剰余金		17,361,795円
2．利益剰余金処分額		
(1)減債積立金	4,847,000円	
(2)建設改良積立金	10,000,000円	14,847,000円
3．翌年度繰越利益剰余金		2,514,795円

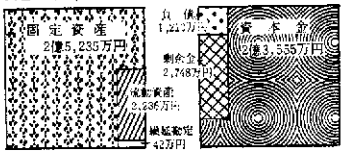
② 昭和43年度上半期業務状況

（昭和43年4月1日より昭和43年9月30日まで）

損益計算書



貸借対照表



給水業務量の状況

区分		43年度上半期	42年度上半期	増減	比較
給水戸数(戸)		5,104	4,674	430	109.2%
配水量	総量(㎥)	1,472,353	1,239,844	232,509	118.8%
	一日最大(㎥)	11,157	8,376	2,776	133.2%
	一日平均(㎥)	8,046	6,775	1,271	118.8%
有収水量(㎥)		945,398	797,251	148,147	118.6%
有収率(%)		64.2	64.3	△0.1	99.8%

昭和42年度給水業務量の状況

区分		42年度	41年度	増減	比較
給水戸数(戸)		4,883	4,472	411	109.2%
配水量	総量(㎥)	2,542,962	2,097,373	445,589	121.2%
	一日最大(㎥)	10,190	7,572	2,618	134.6%
	一日平均(㎥)	6,967	5,746	1,202	121.2%
有収水量(㎥)		1,573,744	1,350,596	223,148	116.5%
有収率(%)		61.9	64.4	△2.5	96.1%